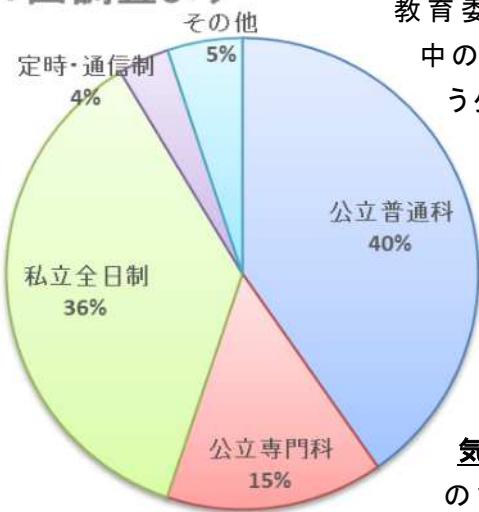


次回の進路希望調査に向けて

4月最初に実施した第1回進路希望調査の結果は以下のグラフの様になりました。ただ、これは最初の予備調査のようなものでしたから、これからドンドンと変化していくって当たり前です。すでにいくつかの高校からの様々な学校紹介の為のイベントや説明会などの案内が配られています。そういった機会を参考に自分が高校の3年間を過ごすのに相応しい思える進路先を見つけていってください。



第1回調査より



教育委員会により実施される第1回の進路希望調査(大枝中の皆さんには第2回になります)が実施される時には、もう少し具体的な情報をつかんだ上でしっかりと考えてその時点での希望先を書きましょう。今回配布された「私学ガイド2024」、近々配布予定の「京都公立高校スクールガイド2023」も参考にしましょう。

皆さんの第1回調査の進路希望先をすべて確認しましたが、初めての進路希望調査と言うこともあります、かなりおかしな内容がありました。そこで以下気になった事や気をつけて欲しい事をあげておきますので、同じようなミスをしないように記入してください！

①鉛筆では書かない！ 「迷っているから」「書きそなったら…」という不安は分かりますが、入試に関する願書や書類などは、ペン書きがお約束です。今のうちから慣れておきましょう！またその際に、消せるボールペンではない事も確かめてください。修正する場合も修正テープなどは使わず、修正箇所を二重線で消し、その上か下に正しく書のが基本なんですよ。

②保護者とよく相談を！ まだ進路決定届(12月)ではありませんが、保護者としっかり相談してください。「めんどくさ～」と思うかもしれません、現実として進学にはお金がかかります。君たちだけで決められません。ただ「保護者の言いなりにしなさい」という訳ではありません。君たちに1番ベストな選択と一緒に悩みながら探して欲しいのです。けんかはダメですよ！

③そんな募集はありません！(資料をよく見て) 仮にも自分が希望している高校の学科やコース名が書けないのは困ります。特に私立高校のほとんどに「普通科」という募集はありません。例えば近所の「明徳高校」なら普通科は「みらい社会EL」「みらい社会PL」、商業科は「みらい社会CLとSL」です(しかも未来はひらがなです)。各校の個性や目指しているものがコース名に表現されています。しっかり調べて書きましょう。また公立でも嵯峨野高校の「京都こすもす」(これも「こすもす」はひらがなで)科は「専修」か「共修」という選択が必要です。京都工学院の「プロジェクト工学」科は、「ものづくり分野」か「まちづくり分野」を選ばねばなりません。さらに、今年度も校名の変更やコース名の改変がいくつある予定です。

④公立高校選抜方式はややこしい！(記入例をよく見て！)

「公立第1希望なのに、中期から受検？」(ダメではありませんが)。「前期100%の学科が中期の希望に」。「第2順位や第2志望がちょっと無理では？」などなど。これから手に入る資料などで研究をしていきましょう。また公立希望の場合は第2表にも必ず記入をして下さい！

分からない事、不安な事は、どんどん担任や進路の係に相談していきましょう！